

2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月4日
上場取引所 東

上場会社名 マミヤ・オーピー株式会社
コード番号 7991 URL <https://www.mamiya-op.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）関口 正夫
問合せ先責任者 （役職名）総務部長 （氏名）熊手 正浩 TEL 03-6273-7360
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	17,187	△39.7	1,862	△69.1	2,313	△63.9	1,649	△62.4
2025年3月期第3四半期	28,504	43.0	6,033	64.1	6,400	51.6	4,384	49.0

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 2,154百万円（△50.1％） 2025年3月期第3四半期 4,319百万円（174.9％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	159.69	158.68
2025年3月期第3四半期	426.21	424.01

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期第3四半期	39,309	26,240	66.6	2,534.16
2025年3月期	40,626	25,120	61.7	2,426.55

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 26,172百万円 2025年3月期 25,062百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	100.00	100.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期（予想）				50.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	21,000	△37.7	2,000	△68.7	2,600	△61.7	2,000	△57.6	193.64

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 -社 (社名) -、除外 -社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	10,508,670株	2025年3月期	10,508,670株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	180,795株	2025年3月期	180,050株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	10,328,326株	2025年3月期3Q	10,286,720株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現には潜在的リスクや不確実性を含んでおり、さらに業績に影響を与える要因はこれに限定されるものではありません。従いまして、諸要因の変化により実際の業績等は記載事項と大きく異なる可能性があることをあらかじめご承知おきください。業績予想の背景、前提条件等につきましては、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明」、P. 3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が景気の緩やかな回復を支えることが期待されるものの、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクや物価上昇継続が個人消費に及ぼす影響にも引き続き注意する必要があります。

このような経済環境の下で当社グループは、システムソリューション事業の強化を進めつつ、グループの経営資源を有効に活用し、安定的かつ持続的な成長を実現するため、高品質と低コストを兼ね備えた製品の提供や、顧客の抱える課題に対するソリューションの提案に取り組み、更なる企業価値の向上を図ってまいりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は171億87百万円（前年同期比39.7%減）、営業利益は18億62百万円（前年同期比69.1%減）、経常利益は23億13百万円（前年同期比63.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億49百万円（前年同期比62.4%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

（電子機器事業セグメント）

アミューズメント関連製品につきましては、紙幣識別機の改刷対応の特需が終息した影響を受けましたが、2025年7月より「ラッキートリガー3.0+」を搭載したスマートパチンコ機器が販売された影響もあり、スマート遊技機の設置台数が順調に伸び、スマート遊技機用ユニットの売上は堅調に推移しております。

液晶小型券売機につきましては、紙幣改刷による機器入替の特需の終息に伴い、顧客からの受注が伸び悩んだ影響を受けましたが、新型券売機であるVMT620シリーズが中小企業省力化投資補助金の対象製品に登録されたことによる販売の促進、リユース品の販売強化及び代理店との関係強化に継続的に取り組んでおります。

ゴルフ場芝刈機用の自律走行システム「I-GINS」につきましては、新規顧客開拓や既存顧客との関係性構築をはじめとした戦略的な営業活動の実践、提携先と連携した販売体制及び保守メンテナンス体制の強化並びに機能拡充に向けた研究開発に継続的に取り組みましたが、製品納入時期の後ろ倒しや車両・部品の高騰による原価上昇の影響により、業績は低調に推移いたしました。

システムソリューションにつきましては、AIの研究開発及び要件定義や開発に関する委託先からの追加要望に積極的に取り組み、業績は伸長いたしました。

モバイルオーダーシステムにつきましては、顧客のニーズに合わせた「CHUUMO」のカスタマイズや宣伝広告費の見直しにより獲得案件数が増加いたしました。引き続き継続的な代理店開拓による販売チャネルの強化にも注力いたします。

この結果、電子機器事業セグメントの売上高は134億42百万円（前年同期比41.3%減）、営業利益は19億27百万円（前年同期比63.3%減）となりました。

（スポーツ事業セグメント）

スポーツ事業につきましては、主力製品の「LIN-Q」をグローバルブランドと位置付け、認知度の更なる向上を目指し、国内外での販促活動に注力してまいりました。

国内におきましては、「LIN-Q」ユーザーである海外プロ選手のツアー優勝や、大手クラブメーカーの純正シャフトへの採用、YouTubeをはじめとするSNSの活用によるブランド認知度向上を図るとともに、新製品の「ATTAS RX ULTRA BLACK」の発売に伴う販売拡大に取り組みましたが、原材料等の高騰の影響を受け、業績は低調に推移いたしました。

海外におきましては、契約選手の活躍により棒高跳び用ボールの販売は好調に推移したものの、大手クラブメーカー向けOEM生産の減少及び米国の関税政策によるゴルフ用品市場の低迷の影響を受け、業績は低調に推移いたしました。

この結果、スポーツ事業セグメントの売上高は35億82百万円（前年同期比13.1%減）、営業損失は34百万円（前年同期は20百万円の営業利益）となりました。

（不動産事業セグメント）

不動産事業につきましては、新たな収益不動産の購入によるアセット強化及び仲介ビジネスに取り組んだことに加え、保有不動産の貸し出しによる賃料収入の確保等、賃貸物件の収益安定化に取り組んだものの、不動産購入に伴う租税公課の増加、自社物件ビルの修繕費用等に加え、前年の特殊要因にも起因し、業績は低調に推移いたしました。

この結果、不動産事業セグメントの売上高は1億63百万円（前年同期比89.1%減）、営業損失は29百万円（前年同期は7億57百万円の営業利益）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当四半期連結会計期間末における流動資産は218億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ46億9百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が34億84百万円、受取手形及び売掛金が15億37百万円減少したことによるものであります。固定資産は174億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ32億93百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が23億68百万円、投資有価証券が9億40百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は393億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億16百万円減少いたしました。

（負債）

当四半期連結会計期間末における流動負債は53億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億93百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が4億77百万円、電子記録債務が8億86百万円、未払法人税等が12億42百万円減少したことによるものであります。固定負債は77億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億57百万円増加いたしました。これは主に繰延税金負債が3億77百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は130億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億35百万円減少いたしました。

（純資産）

当四半期連結会計期間末における純資産合計は262億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億19百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益16億49百万円を計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は66.6%（前連結会計年度末は61.7%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期の連結業績予想につきましては2026年2月3日付「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」において、公表した内容から変更ありません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なることがあります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,238,023	10,753,328
受取手形及び売掛金	4,825,707	3,288,160
電子記録債権	155,205	497,023
商品及び製品	2,032,154	1,642,330
仕掛品	1,019,339	959,246
原材料及び貯蔵品	3,657,358	3,565,437
販売用不動産	265,659	265,659
その他	300,143	915,634
貸倒引当金	△3,322	△6,463
流動資産合計	26,490,269	21,880,356
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,480,746	1,664,737
機械装置及び運搬具（純額）	396,056	347,556
工具、器具及び備品（純額）	139,942	143,988
土地	3,263,858	5,058,377
リース資産（純額）	271,609	221,538
建設仮勘定	146,681	630,976
有形固定資産合計	5,698,894	8,067,173
無形固定資産		
その他	240,852	234,793
無形固定資産合計	240,852	234,793
投資その他の資産		
投資有価証券	5,991,783	6,932,538
長期貸付金	648,054	667,791
出資金	1,009,112	1,037,480
繰延税金資産	61,830	33,668
その他	493,737	464,496
貸倒引当金	△8,525	△8,525
投資その他の資産合計	8,195,992	9,127,450
固定資産合計	14,135,739	17,429,417
資産合計	40,626,008	39,309,774

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,869,455	1,391,871
電子記録債務	1,729,775	843,059
短期借入金	305,000	200,000
1年内償還予定の社債	—	200,000
1年内返済予定の長期借入金	1,883,272	2,188,820
未払法人税等	1,278,189	36,093
賞与引当金	117,798	79,498
その他	973,653	424,704
流動負債合計	8,157,146	5,364,047
固定負債		
社債	900,000	700,000
長期借入金	4,804,009	4,975,464
繰延税金負債	329,618	707,437
役員退職慰労引当金	45,110	42,664
退職給付に係る負債	1,003,583	983,232
その他	265,856	296,820
固定負債合計	7,348,179	7,705,619
負債合計	15,505,325	13,069,667
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,804,323	4,804,323
資本剰余金	1,030,685	1,030,685
利益剰余金	17,430,249	18,035,730
自己株式	△259,404	△260,607
株主資本合計	23,005,853	23,610,131
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	783,637	1,384,943
繰延ヘッジ損益	△22,746	39,115
為替換算調整勘定	1,296,191	1,138,256
その他の包括利益累計額合計	2,057,083	2,562,314
新株予約権	47,320	57,412
非支配株主持分	10,425	10,247
純資産合計	25,120,683	26,240,106
負債純資産合計	40,626,008	39,309,774

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	28,504,932	17,187,622
売上原価	19,400,692	12,306,372
売上総利益	9,104,239	4,881,249
販売費及び一般管理費	3,070,674	3,018,724
営業利益	6,033,565	1,862,525
営業外収益		
受取利息	34,058	53,228
受取配当金	111,854	151,253
為替差益	—	9,423
出資金運用益	126,572	203,168
持分法による投資利益	159,938	111,222
その他	32,517	6,841
営業外収益合計	464,941	535,136
営業外費用		
支払利息	56,868	74,833
為替差損	33,768	—
その他	7,394	9,081
営業外費用合計	98,031	83,915
経常利益	6,400,475	2,313,746
特別利益		
固定資産売却益	198	1,692
特別利益合計	198	1,692
特別損失		
固定資産除売却損	22,047	1,425
特別損失合計	22,047	1,425
税金等調整前四半期純利益	6,378,625	2,314,013
法人税、住民税及び事業税	1,819,206	552,418
法人税等調整額	175,112	112,444
法人税等合計	1,994,318	664,863
四半期純利益	4,384,306	1,649,150
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△17	△178
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,384,324	1,649,328

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	4,384,306	1,649,150
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△145,869	563,101
繰延ヘッジ損益	1,042	61,861
為替換算調整勘定	55,951	△157,935
持分法適用会社に対する持分相当額	23,783	38,204
その他の包括利益合計	△65,092	505,231
四半期包括利益	4,319,214	2,154,382
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,319,232	2,154,560
非支配株主に係る四半期包括利益	△17	△178

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	電子機器 事業	スポーツ 事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,887,199	4,121,532	1,496,200	28,504,932	—	28,504,932
セグメント間の内部売上高又は振替高	180	131	1,606	1,917	△1,917	—
計	22,887,379	4,121,663	1,497,806	28,506,849	△1,917	28,504,932
セグメント利益	5,256,027	20,055	757,481	6,033,565	—	6,033,565

(注) 報告セグメントの利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	電子機器 事業	スポーツ 事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,442,239	3,581,864	163,518	17,187,622	—	17,187,622
セグメント間の内部売上高又は振替高	180	142	455	777	△777	—
計	13,442,419	3,582,007	163,973	17,188,399	△777	17,187,622
セグメント利益又はセグメント損失(△)	1,927,214	△34,713	△29,975	1,862,525	—	1,862,525

(注) 報告セグメントの利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	278,950千円	232,795千円